

## はじめに

「台東区の生活安全」は、警察で認知した区内の犯罪状況と、生活の安全に関する区の事業をまとめたもので、平成17年から毎年作成しています。

令和5年中における区内4警察署（上野・下谷・浅草・蔵前）で認知した刑法犯の件数は、2,817件で、増加に転じた前年（令和4年。以下同じ。）と比較すると282件増加し、平成26年以降減少を続けてきましたが、2年連続で増加となり、コロナ禍前の水準に近づいています。

区では、「特殊詐欺」、「侵入盗」、「万引き」、「自転車盗」、「子供に対する犯罪」の5罪種を重点犯罪に指定し、対策を実施してまいりました。

特に、特殊詐欺については、被害件数は38件で前年比10件減少していますが、被害額は約6千7百万円で前年比約百万円の増となっています。東京都内で見ると、被害件数は減っているものの、被害額は大きく増加しており、詐欺の手法も様々な形に変えてくるなど、予断を許さない状況にあります。

区は、特殊詐欺被害をなくすため、区内4警察署と連携して、高齢者が居住する世帯を対象に、被害防止に有効な「自動通話録音機」の無償貸与を行っています。また、令和6年度よりシルバー人材センターへの業務委託による無人ATMコーナーでの警戒やチラシの配布、声かけを行うなどして、被害発生の水際対策と被害防止の啓発に努めているところです。そのほか、被害防止啓発の番組を制作し、YouTubeでの配信を行うとともに、広報紙やチラシの配布、町会での掲示や回覧などによる情報発信を継続して実施しています。他の犯罪では、万引き被害、子供に対する犯罪が減少したものの、侵入盗、自転車盗は増加しています。

犯罪発生状況については、町会ごとの詳細なデータも掲載しておりますので、地域の自主防犯活動にご活用いただければ幸甚に存じます。

防犯設備整備助成事業としては、町会、商店街等の地域団体が当該地区における安全確保及び犯罪抑止のために設置する防犯カメラ等について、その設備整備にかかる費用の一部を助成しています。

また、子供の安全安心を守る事業として、子供が利用する施設等を中心に、青色回転灯付きパトロールカーによる巡回を行っており、併せて夜間防犯パトロールの活動も実施しております。

今後も、区民と本区を訪れる方々の安全と安心を確保するため、警察、関係団体そして地域の皆様と、区内の犯罪状況や防犯活動等の情報を共有し、協働して犯罪に強いまちづくりを推進してまいります。

なお、本書は警視庁本部、区内の警察署、消防署等で集計した資料に基づき作成したものです。資料の提供を含め多大なご協力をいただきましたことに、厚くお礼を申し上げます。

台東区